

富士山いろいろ



8月11日は山の日です。【山の恩恵に感謝し、自然に親しむ祝日】として2014年に制定され、今年から施行されます。日本の山というと最初に思い浮かぶのが富士山という方も多いのではないのでしょうか。2013年に世界遺産に登録され、昔から日本人と深い関わりがあった富士山に関するいろいろな本を紹介します。

.....



「富士山と日本人」 青弓社編集部/編 青弓社

「伊勢物語」や「更級日記」にも登場するなど平安時代にはすでに都の人々の間では有名だった富士山。古くから信仰の対象となり江戸時代には大勢の参詣者が富士登山を行っていました。日本のランドマーク富士山と日本人のさまざまな関わりが書かれています。



「富士山噴火の歴史；万葉集から現代まで」 都司嘉宣言／著 築地書館

文献上では、富士山が噴火した最古の記録は8世紀の「続日本紀」での記述とされています。江戸時代の宝永噴火では関東地方を中心に甚大な災害をもたらした富士山。そんな火山としての歴史が書かれています。



「ふるさと富士名鑑；日本と世界の郷土富士」山と溪谷社

本家“富士山”に見立てられ、日本全国に“○△富士”と呼ばれている山々は400座以上あるそうです。そんな各地の“郷土富士”が地元の名産品と合わせて紹介されています。



「富士塚ゆる散歩；古くて新しいお江戸パワースポット」
有坂蓉子／著 講談社

登ると本家“富士山”に登ったのと同じご利益があるという富士塚のいろいろな楽しみ方が紹介されています。



「風呂屋の富士山」 町田忍、大竹真／著 ファラオ企画

銭湯の湯船の背景に描かれた絵（浴場背景画）の定番だった富士山。銭湯と富士山の関係が書かれています。



「富士山の光と影」 渡辺豊博／著 清流出版

2013年に世界遺産に登録された富士山。その一方で、オーバーユースが原因の環境破壊が深刻になっています。



「富士山文化；その信仰遺跡を歩く」
竹谷鞠負／著 祥伝社

古くから信仰の対象となっていた富士山。世界遺産に登録されたもの以外にもさまざまな魅力ある文化遺産が存在します。



「富士山の文学」 久保田淳／著 文藝春秋

古くは8世紀に成立した「常陸国風土記」でも取り上げられている富士山。「竹取物語」、「源氏物語」など富士山について記述のある文学作品を紹介しています。

編集・発行：さいたま市立与野図書館

さいたま市中央区下落合 5-11-11 TEL 048-858-7816
平成 28 年 8 月